

埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network
埼玉グリーン購入ネットワークニュース
第14号 2015年3月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める
首都圏初の地域ネットワーク～

埼玉GPN NEWS 2015.3



武蔵野銀行頭取 加藤喜久雄氏

「かけがえのない自然を守るために」 武蔵野銀行頭取 加藤喜久雄氏

今回は、武蔵野銀行頭取 加藤喜久雄氏に、環境への取組み等について江田会長がお聞きしました。



環境への取組みを語る加藤頭取

CSR基本方針に基づき積極的な活動を展開

江田：武蔵野銀行の環境への取組みについてお聞かせ下さい。

加藤頭取：当行は、埼玉県の地域金融機関として、持続可能な社会に向けて社会が抱える課題の解決に繋がる様々な活動を展開するため「CSR基本方針」を策定し、この方針の1つの柱であります「環境への配慮」への取組みに基づき、積極的な活動を展開しています。

環境関連商品のお取扱い

江田：お客様に対する取り組みはいかがでしょうか？
加藤頭取：当行では、「CSR基本方針」に基づき、本業を通じて様々な環境関連商品をご提供しています。例えば、埼玉県と連携した環境にやさしいマイホームづくりを応援する『埼玉の家』エコな暮らし応援!! 住宅ローン」や、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用する法人・個人を対象とした融資商品、通帳を発行せず紙の削減に繋がるとともに通帳記入の必要がなく、紛失の心配もないインターネット専用口座「Web Note」などが挙げられます。

従業員への環境教育、環境に配慮した店舗づくり

江田：社内での取り組みはいかがでしょうか？
加藤頭取：環境に配慮した取り組みを進めるにあたり、まず従業員が環境について正しく理解することが重要だと考えています。20年度から環境学習プログラム「ぶぎん環境カレッジ」を開講しました。受講者は「生態系保護2級指導員」を取得できる仕組みになっています(26年9月末現在、有資格者80名)。また、新事務センター(24年9月竣工)建設では、日本の在来植物にこだわり植栽しました。その取組が評価され、銀行業界で初めて公益財団法人日本生態系協会の「JHEP(ジェイヘップ)認証ランクA」を取得しました。
江田：業務の中で環境に気をつけていることはありますか？
加藤頭取：例えば、普段から営業室の空調の温度設定・利用制限の厳守、照明点灯数の削減や38店舗に「自動

CONTENTS

- トップインタビュー 武蔵野銀行 頭取 加藤 喜久雄氏……………1
- 秋の先進企業見学会……………2
- グリーン購入大賞を学ぶ……………3
グリーン購入基礎講座
- 会員紹介 埼玉トヨペット(株)……………4

検針装置」を設置し、使用電力の削減に取り組んでいます。従業員は各家庭でも節電を実施しており、埼玉県の温暖化対策キャンペーンの一環である「エコライフDAY 埼玉」に毎年参加しています。

グリーン購入の推進

江田：グリーン購入についても御行は購入方針を立てておられますね？

加藤頭取：備品や消耗品、営業車輛等を調達するにあたっては、自然環境への影響に配慮した「武蔵野銀行グリーン購入方針」に基づき、購入を行っています。名刺や封筒、お客様への粗品、コピー用紙、トイレトーパー、ディスクロージャー誌等には、再生紙や森林認証紙を積極的に使用しています。CO₂削減に向けた取り組みとして、営業車輛に電気自動車1台を所有しているほか、どなたでもご利用いただける電気自動車専用充電器を県内9店舗に設置いたしました。また、燃料電池自動車（水素自動車）も2台購入する予定です。

森林保全への貢献

江田：森林保全にもご尽力されていますね。

加藤頭取：森林保全に関しましては、森づくり活動の地方銀行ネットワークである「日本の森を守る地方銀行有志の会」のメンバーとして、美しく健全な森林を次世代に引き継いでいくための活動を行っています。また、当行創業60周年記念事業として設立した「武蔵野ボランティアクラブ」が森林保全活動を行っています。その他、地域の緑化推進のため、埼玉県「さいたま緑のトラスト基金」等に毎年、寄付を行っています。

江田：助成事業も長く継続されているとお聞きしましたが。

加藤頭取：埼玉県内の自然環境保全及び創出に資するため、当行創業40周年記念事業の一環として平成4年7月に「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」を創設しました。この基金から個人又は民間団体の活動へ助成させていただき、おかげさまを持ちまして、これまで延べ188団体、総額約5,800万円の助成金をご活用いただきました。これからも美しく住み良い環境づくりのため、そしてかけがえのない自然を守るために精一杯貢献したいと考えています。

このような活動により、平成24年3月、第13回「さいたま環境賞」を受賞いたしました。

埼玉県は、緑豊かな埼玉の自然を次世代に引き継ぐため、「みどりと川の再生」に積極的に取り組んでいま

す。また、県民の皆さまも様々な活動を展開されています。私どもといたしましても、埼玉の地元銀行として、今後も県民のみなさまとともに、環境保全・創出に向けた活動を積極的に展開してまいりたいと考えています。

江田：大変素晴らしい地域貢献活動ですね。貴重なお話をいただき、ありがとうございました。

秋の先進企業見学会

10月24日（金）秋の環境先進企業見学会を開催し、6月の埼玉GPNフォーラムで発表いただいた入間市にあるカネパッケージ株式会社と飯能市にある株式会社デコスを訪問しました。

世界最軽量の緩衝材（カネパッケージ株）

カネパッケージ株では、代表取締役金坂良一氏から、世界最軽量の緩衝材を開発することによりコスト面・環境面で大きな改善が図られたこと



ショールーム見学の様子

等について説明いただきました。開発により体積は2分の1、重量は56%となり、CO₂は40%、コストは30%の削減に成功したそうです。その後ショールームで、災害時の避難所でプライバシーを保つために開発されたダンボール製の小屋などを見学しました。また、サッカーボールほどの大きさの緩衝材の中に生卵を入れ、2階から落下させても中の卵が割れないというエッグドロップ実験も実演いただきました。200mの高さから落としても卵は割れないそうです。緩衝材の世界にもこのような技術進歩があることに驚きました。

燃えない、新聞紙で出来た壁（株）デコス

続いて、株デコスに向かいました。新しく建った事務所は、西川材がふんだんに使われ木の香りが漂っていました。敷地内の大きな工場は、すべてオートメーション化され、わずか4人で運営されていることに驚きました。

断熱事業部企画部長の田所憲一氏からデコスドライ工法の説明をいただいた後、工場を見学しました。新聞紙を材料とする断熱材（デコスファイバー）は、乾

式吹き込み工法を用いるため、管や配線のための穴や隙間を開けずに済み、ファイバー自体の防露・調湿性により建物の寿命を延ばすことに優れているそうです。また、難燃処理が施されているためバーナーで実際に火をかけても燃えず、万一の火災時にも延焼を防ぎ、有毒ガスの発生もなく安心とのことでした。



デコスファイバー防火実験の様子

グリーン購入大賞を学ぶ ～エコプロダクツ2014～

グリーン購入に関する優れた取り組みを表彰する「第16回グリーン購入大賞」が決定し、12月12日、東京ビッグサイトで開催されたエコプロ



表彰式開会挨拶の様子

ダクツ2014内のイベントステージにおいて表彰式が開催されました。また、会議室棟では受賞者による事例発表会及び、セミナー「公共調達に利く『エコ商品ねっと』～調達担当者・営業担当者必見!グリーン購入適合商品かんたん検索～」が開催されました。埼玉グリーン購入ネットワークではエコプロダクツの見学と受賞者の先進事例を学習の場と捉え、昨年同様に参加者を募り見学会を開催しました。

表彰式では多くの報道関係者による取材が行われ、関心の高さが窺えました。その後の事例発表会・セミナーにも多くの



事例発表会の様子

来場者が集まり、事業所で調達を担当する方々による素朴な疑問や、実務的な質問も飛び交い、熱心な意見交換が交わされまし

た。エコプロダクツ会場内の団体出展ブースには、大人だけでなく多くの子ども達も集り、各企業・団体の工夫を凝らした展示を楽しみながら学んでいました。

受賞団体一覧

大賞・環境大臣賞	(株)リコー
大賞・経済産業大臣賞	(一社)東京都トラック協会
大賞・農林水産大臣賞	(株)ディーエルディー
大賞	一富士フードサービス(株)、パナソニック(株)、アプライアンス社、滋賀県、JA草津あおばな館、草津市
審査委員会特別賞	(有)千田清掃
優秀賞	大和ハウスグループ 東京サラヤ(株)
	レーク大津農業共同組合「はなふじ」米生産グループ
	北海道、サッポロビール(株)、生活協同組合コープさっぽろ、上士幌町
審査員奨励賞	太陽工業株 (株)サワヤ
	石巻市
	東京都立つばさ総合高等学校
	ISO委員会

グリーン購入基礎講座 「知ろう!学ぼう!グリーン購入」

2015年2月17日(火)、グリーン購入ネットワーク事務局次長の深津学治氏を講師に招き、グリーン購入基礎講座「知ろう!学ぼう!グリーン購入」を開催しました。基調講演ではグリーン購入の基本から、もの的一生を考え、何を基準として選べば良いのかといった実践方法まで分かりやすく説明いただきました。



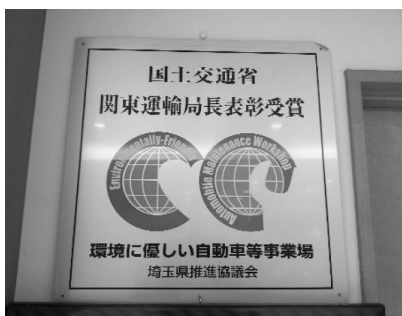
深津氏による講演の様子

続くワークショップでは、実際に物品を購入する場合の商品選びのポイントについて、皆で考えました。商品分野(コピー用紙、蛍光ペン、トマト、ブルゾン、そしてランプ)の中から、各自で何が環境に良い商品なのかを選び、その後グループで選んだ理由などを話し合いました。いざ皆で話し合ってみると、それぞれ違った視点で商品を選んでいることが分かり、グリーン購入には選択肢がいくつもあるということを感じました。あらゆる側面から環境を考え、購入する際はたとえ環境に対してベストの商品でなくても、ベターやグッドなものを選ぶことがポイントだと分かりました。

会員紹介 埼玉トヨペット株式会社

弊社は昭和31年の創業以来、埼玉県のとヨタの自動車販売店として、お客様のご支援、ご愛顧のもと、社員数1,596名、県内74拠点(新車53拠点、U-Car14拠点及びサービスセンター等7拠点【2014年12月末現在】)と今日まで発展してきてくることができました。

自動車の販売・整備業として、安全で住みよい地域社会・環境づくりに貢献する事を大



きな社会的責任と捉え、2004年より環境に優しい優良事業場として、CO₂の削減、省エネルギー機器の導入、廃部品及び使用済み自動車の適正処理などの取組を行い、埼玉運輸支局長表彰並びに関東運輸局長表彰の表彰を受けております。

又、2012年より新たに埼玉トヨペット独自の環境マネジメントシステムを基に、CO₂の削減、廃棄物の適正処理はもとより、サービス工場の環境リスクのチェック及び低減、近隣住民の方への配慮などを年間の環境キャンペーンとして取り組んでおります。キャン



ペーンは、各取組項目を点数化し毎年表彰基準に達した拠点については、表彰を行っており、年を重ねるに従い基準を上回る

拠店が増え、環境に対する意識向上が図れております。

これからも近隣住民の方に安心して頂けるお店づくり、地球温暖化防止のための活動に取り組んで参ります。

埼玉GPN会員一覧

順不同

りそな総合研究所(株)、(株)ぶぎん地域経済研究所、(株)ハイディ日高、(株)テレビ埼玉ミュージック、大宮アルディージャ、浦和レッドダイヤモンドズ、埼玉日産自動車(株)、武州ガス(株)、(株)ヤオコー、(有)タカザワ企画、(有)パル、(株)関東パイプ技研、(株)小山本家酒造、埼玉トヨペット(株)、ポラス(株)、リコージャパン(株)関東営業本部、望月印刷(株)、(株)イーシティ埼玉、(株)FM NACK5、(株)デサン、(株)タカヤマ、(株)アクセル、(株)ビージーサービス、武州産業(株)、(株)埼玉りそな銀行、(株)ビルテクノマイニチ、(株)松永建設、(医)誠昇会北本共済病院、(株)マツハ、税理士法人レッドサポート、(株)武蔵野銀行、(株)アルク設計事務所、埼玉県信用金庫、(株)エンライト、(株)ワーム、(株)ジャスト、東京ガス(株)埼玉支社、(株)ユーパーツ、溝口洋紙(株)、(株)エコ環境システム、(株)松柳園、(株)甲商、(株)ビルヒット、(株)東京化成製作所、アピカ(株)、武正(株)、北海製罐(株)、コクヨマーケティング(株)埼玉支店、富士ゼロックス埼玉(株)、国際チャート(株)、(株)ベルエール、(株)ハイクレ、フォーレスト(株)、サンケイ鋼器(株)、大成ロテック(株)、(株)ジャパンアート、(株)アートドットコム、(株)シール堂印刷、(株)埼玉ディエスジャパン、(社福)埼玉福祉会、毎日興業(株)、(株)与野フードセンター、マルキュー(株)、(株)埼玉新聞社、(株)国太楼、(株)エヌ・ティ・ティ・クオリス、(株)太陽商工、(株)神谷製作所、モデリング(株)、(株)ヒメプラ、サイエンス(株)、戸田市、埼玉県、さいたま市、日高市、川越市、川口市、生活協同組合コープみらい、NPOEEハーモニー、埼玉県商工会連合会、(公財)さいたま市産業創造財団、(公財)埼玉県産業振興公社、埼玉中小企業家同友会、さいたま商工会議所、埼玉県中小企業団体中央会、(公財)埼玉県公園緑地協会、(一社)埼玉県トラック協会

■ 入会案内

団体会員、サポーター(個人会員)があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

〒337-0053さいたま市見沼区大和田町2-1322-2大和田NPOプラザ内
TEL.048-749-1217 / FAX.048-749-1218
E-mail saitamagpn@yahoo.co.jp
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>